### 市議会だより



大室山

**発行** 伊東市議会 **議長** 宮崎雅薫 編集 議会報編集委員会 伊東市議会事務局 電話32-1981(直通)FAX38-6916



表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。 つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

#### 小室山

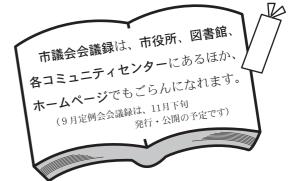
 主
 9月定例会の概要 ……
 【P.2】

 な
 代表質問(4議員が登壇) ……
 【P.8】

 内
 一般質問(4議員が登壇) ……
 【P.8】

 容
 常任委員会だより ……
 【P.11】

 特別委員会中間報告 ……
 【P.12】



#### 平成24年9月定例会

#### 平成23年度 特別会計・企業会計決算を

9月定例会を8月30日から9月27日までの29日間の会期で開会しました。

地支援事 その後、 開を念頭 初予算は、 七〇〇〇円としました。 規模を二 の緊急経 の積極的 定着を 補 造 41 0 成 正等を行 とう8 ため 0 品な実施、 五八億八五六六万 済対策等に伴う増 業や雇用 東日本大震災被災 図 実現 に編成し 本市 の各種施 りつつ、 年 K 1, を 0 0 協き目 最終予算 本市独自 創 ましたが、 般会計 健 創まし、 出事業 施策の展 全財 「伊東

な

お、

歳

額

りました。 は二五 める市税が対前年度比 ー の 年度比〇 主財源に大きな比重を占 般会計の歳入決算では 減となる中、 億五 九%の増とな 三万円で、 決算額 対

ものの、 公債費が における扶助費が二・九% 投資的 事業費が対前 歳出決算では、 経費では、 九%減少 一・九%増 、件費が前年度に 年 しました。 加した 度 普通 常 比 経費

> 対前 円 なりました。 で、 四 Ŧi. 0 几 年度比〇 結果、 %増加しました。 億三七. 行率 九四 七 歳出決算 万 % の 五〇〇〇 七 % 増 額

成23年度

市長決算概要説明

( 要 旨

五億 〇〇円となりました。 で、 は、 口 源を差し引いた実質 翌年度へ繰り越す る五億二五 九六七五 前年度を 入歳出差引 万 五〇〇〇円 方 • 収支 几 ~ き %

0七0 〇 〇 円 三億 本的 となりましたが、 出 〇〇〇円となりました。 九 的 んしました。 『収支は、 兀 年 兀 病院事業会計では、 収支は、 七二九万六〇〇〇円で、 勘定留保資金等で 几 度純利益は四七〇万六 万七〇〇〇円、 万九〇〇〇円 几 七万六〇〇〇円、 億四 収入が三 収支差し Ŧi. 収 一八万五〇 入が一三億 過年 支出 この不足 引き六 億一 収益 資 支 が

平成23年度

一般会計・特別会計・企業会計決算 ○全会―教で認定

		<b>©</b> <u>-</u>		以 ( ) 。	SXX C	ᆙᄼᄹ
区 分 会計別		歳入		歳出		審議
		決算額(円)	収入率	決算額(円)	執行率 (%)	結果
	一般会計	25,100,530,229	96.97	24,503,774,769	94.66	0
	下水道事業	2,078,509,148	97.47	2,073,322,069	97.22	0
	競 輪 事 業	13,663,419,061	88.42	14,046,392,094	90.89	0
特別会計	国民健康保険事業	10,963,401,408	103.80	10,287,584,980	97.40	0
	土 地 取 得	145,195,575	96.32	145,128,243	96.27	0
	霊 園 事 業	121,897,792	99.75	121,797,211	99.67	0
	介護保険事業	5,978,536,983	99.03	5,976,424,008	98.99	0
	介護老人保健施設	85,713,311	100.02	85,527,762	99.80	0
	後期高齢者医療	1,480,235,916	99.82	1,462,978,850	98.65	0
	合 計	59,617,439,423	96.29	58,702,929,986	94.82	_

区		区分	収 入		支 出		審議
会	計別		決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	結果
企 病院事業	収益勘定	311,947,146	102.60	307,295,639	106.11		
	<b></b>	資本勘定	1,384,476,366	99.99	1,445,184,987	99.96	
会	会 計 水道事業	収益勘定	1,642,890,828	100.71	1,495,043,650	96.12	0
計		資本勘定	278,582,450	73.75	1,079,793,165	92.43	

収支は、 収 が 六億

四

な

改革

0

取り

組 み

によ

的

〇円で、 が 二八九二 八七六万五〇〇〇円の当 几 万 億 収支差し引き一 九五〇四 000円、 万四 支出

億

保に

定

の前進が

図

断比率などの財

政

確保するととも

正とされる規模の

黒字 財 ら れ 源

指標からも、 健全化判

確実に健全化

向

かってい

・るも

七八五 資本的 出が一 0001 〇 〇 円 度純 〇億七九七九万三〇 収支は、 円 で、 八万二〇〇〇円、 利益を計 の不足となりまし 八億一二一万一 収 上しました。 入が一 支 億

> 判 方向

補てんしました。 本市 の財政は、 損益勘定留保資 さまざま

目指し、

引き続き最善の

努 を

伊

東創造」

の

集

大成

力を傾注してまいります。

水道事業会計では、

収

※「元点改基 いとう8K 健磨共成」

8 K 健磨共成」を合いけとめ、「元点改基 い

いとう い言葉

本決算の意義を真摯に 断しています。

= 「伊東側造の」集大成を目指し、初心に戻り改めて基礎(土台)の強化を図る。 健やかに8Kを磨き上げ(健磨)市民とともに市政の熟成を目指す。

## 本会議で、一大討論、概要

## ■伊東市ペット火葬場等の

突いた議論のないまま否決 における質疑の大半は、文 要求できる」としている点 することは承服できない。 辺部分のみであり、本質を 言の解釈上の問題点等の周 にあるが、本会議、委員会 葬場等の施設について一定 を敬遠するようなペット火 民が周辺に建設されること 告に反対する。 議員の使命であると考える 望を実現することは、我々 の条件を満たしてほしいと 合決すべしとした委員会報 議員諸君の再考を求め、 さらに、市民の正当な要 本発議案の本質は、

る権利を守るためにも、

業の推進は、環境の改善に

しかしながら、下水道事

## 《否決に賛成》森篤議員

行政の体系について整理が中の定義等に重大な欠陥が中の定義等に重大な欠陥がに係る指導要綱との整合性に係る指導要綱との整合性があること、本市の土地利用

本条例案に反対する。

て情報収集が必要である。とれていないこと、パブリされていないこと、パブリされている。これらをおり、自治体独自の条例をおゆえ、国の動向について、自治体独自の条例をれゆえ、国の動向についないこと、パブリ

## 住民が安心して生活でき

う点で不十分であり、 見解を求めることや、広く 制内容が妥当かなどについ くものでなければならない。 務を行う行政側も納得がい 民の賛同が得られるような ることができないと考え、 として責任を持って可決す て、専門家の意見や客観的 妥当な内容であり、 何らかの規制が必要である。 ット火葬場等の建設に関し、 民の声を聞く必要性とい しかし、本条例案は、 本来条例は、大多数の市 かつ実 議会

## ■平成二三年度伊東市下水道

《賛成》重岡秀子議員 下水道使用料は、平成二 時に値上げされ、平成二三 時に値上げされ、平成二三 たが、値上げが観光不況に たが、値上げが観光不況に たが、値上げが観光不況に たが、値上が観光不況に を注視しつつ、観光業者や を注視しつつ、観光業者や を注視しつつ、観光業者や を注視しつつ、観光業者や

上に向けた施策に期待し賛重要であると考える。

今後、さらなる接続率向
重要であると考える。



平成23年度一般会計歳入歳出決算 起立採決

### 

般

### 《賛成》森篤議員

では、これを記さする。 ついては、これを記さする。 う算編成に当たり留意すべ 予算編成に当たり留意すべ では、これを記さする。 では、これを記さする。 では、これを記さする。 では、これを記さする。

予算執行は、単に数値の ・ 大政執行は、単に数値の ・ 大政執行は、常に市民に ・ 大政執行は、常に市民に ・ 大政執行は、常に市民に ・ 大政執行は、常に市民に ・ 大政執行は、常に市民に を使うことも重要である。 ということも重要である。 ということも重要である。 ということも重要である。 ということも重要である。 を使うことにより、その成 を使うことにより、その成 を使うことにより、その成 を使うことにより、その成 を使うことにより、その成 をでいずる。これ が求められている。これ なるものである。

### 《反対》重岡秀子議員

教育費に関し、特別支援教育支援員に係る経費が授業日数及び授業時間より少ない予算立てであるとともない予算立てであるとともたいないのまだに図書館司書がに、いまだに図書館司書がに、いまだに図書館司書がに、いまだに図書館司書がに、いまだに図書館司書がに、いまだに図書館司書が、といるとなどは残念であり、観

また、観光に関し、改めて観光戦略をしっかり練る るための取り組みを進める こと、さらに、観光の発展 こと、さらに、観光の発展 に向けた建設関係の事業に に向けた建設関係の事業に に向けた建設関係の事業に であると考え、反対する。 であると考え、反対する。

### 《賛成》公明党

実現しつつあり、 境等の数値目標は、確実に に向け、地域医療や教育環 した目標を掲げている。 め、施策達成状況を数値化 健康等八つの重要施策を定 市の抱える課題解決に向け、 大綱を実現させるため、 計画では、将来像や施策の 伊東市総合計画がスター した年であり、 平成二三年度は、 目標年である平成二七年 第九次基本 財政指標 第四

待し、認定に賛成する。
おらなる施策への推進を期での事の事の事が、一個東創造の集大成へ向け、

からも、健全な財政状況に

## 賛成》正風改革クラブ

大きくなったものの、市税

費は増加し、 収入は減少、 営を高く評価する。 維持しており、その財政運 判断比率等は良好な数値を 力性が低下する中、 財政構造の弾 扶助費や公債 健全化

評価する。 各種施策を展開された点も 創・実践」による積極的な また、「いとう8Kの協

認定に賛成する。 施策と市民福祉の向上に全 活力ある地域社会づくりの と平成二五年度の予算編成 力で取り組むことを要望し においてもさらに発展させ、 平成二四年度の事業執行

#### 税制全体の抜本改革の確 反対》重岡秀子議員 実な実施を求める意見書

増税による倒産・失業など、 り上げに課せられるため、 かも、もうけ「ゼロ」でも売 ほど値段に転嫁できず、し い価格競争の中で弱い業者 北欧諸国より国の税収全体 に占める割合が大きい。 の生活必需品にもすべてか また、内税なので、激し 消費税は、 五%でも二五%の 水、食物など とに賛成多数で決定しました。 の決定のとおり、否決するこ 決した結果、 本会議においては、討論、採 少数で否決すべしと決定し、 審査を続行しましたが、賛成 の動議が出されるも否決され 委員会においては、 ました。 ※討論は、 審査を付託された常任総務

響も大きいと思われる。 であることから、 見書案は消費税増税を容認 については賛成だが、本意 し、それを前提としたもの 内の業者や市財政への影 よって、税制の抜本改革 反対する

### 《賛成》公明党

向け、 対GDP比が約一五〇%と 安心で活力ある経済社会に いう危機的な状況であり、 国の財政は、債務残高の 人口減少に歯どめを

> 対策を講じる必要がある。 わせ、さまざまな格差への よる労働生産性の向上にあ かけつつ、成長力の強化に これら諸課題に対する財

> > 決定

得たものとして賛成する。 も税制の抜本改革は不可 源を確保しつつ、後世代に 関係費に関し、安定的に財 出増加要因である社会保障 政の構築に向け、 であり、本意見書は時宜 負担を先送りしないために 最大の歳

36件の議案等を審議、

## 議員提出議案

# 今伊東市ペット火葬場等の設置等に関する条例~

定める内容で、稲葉富士憲議員、三枝誠次議員から提出され ット火葬場等の設置等が適正に行われるよう必要な事項を 上を図るとともに、良好な近隣関係の保持を目的として、ペ 本条例案は、 地域における健全な生活環境の維持及び向



前記のとおり

#### 議会9月定例会で審 議 議案



議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市報第3号	平成23年度決算に基づく健全化判断 比率及び資金不足比率の報告につい て	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第7号	伊東市立さくら保育園条例の一部を 改正する条例	さくら保育園の利用者負担額の算出方法を規定する法律が、障害者自立支援法から児童福祉法に改められたことによる条例改正	市長	全会一致 で可決

#### 市議会だより

議案番号	件名	概   要	提出者	審議結果
市議第8号	伊東市火災予防条例の一部を改正す	電気自動車等に充電する急速充電設備について対	市長	全会一致
	る条例	象火気設備に追加し、その設備の位置、構造及び		で可決
		管理の基準について規定するための条例改正		
市議第9号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約	外国人登録制度が住民基本台帳制度に移行したこ	市長	全会一致
	の変更について	とに伴う規約の所要の改正に当たり、地方自治法		で可決
		第291条の11の規定に基づく議決		
市議第10号	平成23年度伊東市水道事業会計未処	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推	市長	全会一致
	分利益剰余金の処分について	進を図るための関係法律の整備に関する法律の施		で可決
		行に伴い、地方公営企業法が一部改正されたこと		
		による未処分利益剰余金の処分の議決		
市議第11号	平成24年度伊東市一般会計補正予算	経済対策として公共施設の小規模修繕を中心とし	市長	全会一致
	(第2号)	た緊急経済雇用対策事業、県の補助金を活用した		で可決
		緊急雇用創出事業、小学校教職員一人1台のパソ		
		コンの購入経費、6月19日の台風4号により発生		
		した市有施設の修繕経費を追加するほか、財政調		
		整基金、医療施設設置基金への積み立てなど4億		
		9,852万5,000円の追加		
市議第12号	平成24年度伊東市国民健康保険事業	一般被保険者療養給付費などの増額、精算による	市長	全会一致
	特別会計補正予算(第1号)	前年度分の国庫支出金返還金の計上など5億7,356		で可決
		万円の追加		
市議第13号	平成24年度伊東市介護保険事業特別	保険給付支払準備基金積立金のほか、介護予防事	市長	全会一致
	会計補正予算(第1号)	業等に係る国県支出金の返還金等の計上など3,031		で可決
		万6,000円の追加		
市認第5号	平成23年度伊東市一般会計歳入歳出	※各決算の概要は、2ページの各会計決算の表を	市長	2ページの
>	決算、8特別会計歳入歳出決算及び	ごらんください。		各会計決算 の表をごら
市認第15号	2 企業会計決算			んください
市選第1号	教育委員会委員任命の同意について	上村昌延氏(富戸)再任	市長	賛成多数で
市選第2号		内山義夫氏(富戸)新任		任命に同意
市選第3号	監査委員選任の同意について	谷口豊氏(識見を有する者から選任する委員)	市長	全会一致で
		(中央町) 再任		選任に同意
発議第3号	伊東市ペット火葬場等の設置等に関	地域における健全な生活環境の維持及び向上を図	議員	否決すべしと
	する条例	るとともに、良好な近隣関係を保持することを目	2名	する委員会報   告のとおり替
		的に制定		古のとおり貝   成多数で否決
発議第4号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期	内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、拉致問題担	議員	全会一致
	解決を求める意見書	当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	8名	で可決
発議第5号	自治体における防災・減災のための	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大	議員	全会一致
	事業に対する国の財政支援を求める	臣、農林水産大臣、国土交通大臣、衆議院議長及	8名	で可決
	意見書	び参議院議長に提出		
発議第6号	中小企業の成長支援策の拡充を求め	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交	議員	全会一致
	る意見書	通大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	8名	で可決
発議第7号	気象事業の整備拡充を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣府	議員	全会一致
		特命担当大臣(防災)、衆議院議長及び参議院議	8名	で可決
		長に提出		
発議第8号	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハ	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労	議員	全会一致
	ーブ」に対する早急な規制強化等を	働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	8名	で可決
	求める意見書			
発議第9号	税制全体の抜本改革の確実な実施を	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長	議員	賛成多数
	求める意見書	及び参議院議長に提出	7名	で可決
発議第10号	議長辞職願について	土屋進議長の辞職	議長	賛成多数で許可
発議第11号	副議長辞職願について	稲葉富士憲副議長の辞職	議長	賛成多数で許可
発選第1号	議長選挙	有効投票22票のうち、宮﨑雅薫議員21票、無効票	議長	_
-		1票で、宮﨑雅薫議員が当選しました。		
発選第2号	副議長選挙	指名推選により、浅田良弘議員が当選しました。	議長	_
発選第3号	常任委員会委員の所属変更について	※10ページをごらんください。	議長	全会一致で可決
発選第4号	議会運営委員の補欠選任について	※10ページをごらんください。	議長	
	議会改革特別委員会委員の補欠選任	※10ページをごらんください。	議長	全会一致
発選第5号	m25711111572571111117121			

平成23年度 各会計決算及び市長の政治姿勢について (4会派から) 4議員が登壇 (登壇順に掲載)

> の の 、 平成二〇年度に比べ九・六 構成比は五四・五%であり、 億七二八六万九〇〇〇円 規模は大きくなっているも 平成二三年度決算を見る 一般会計における決算 自主財源は、



宮﨑雅薫議員

性及び財政力も低下して ことから、 は〇・八一〇となっている 年々低下し、 政力を示す財政力指数は、 ポイント減少している。 る状況が推察される。 このような現状について、 また、 地方公共団体の財 財政構造の弾力 平成二三年度 一三六 今後ど

のような対応を考えている どのように分析し、

自主財源の確保に努める 引き続き市税を初めとした

て

通院される高

齢

伊東駅

比率及び財政力指数につい年々低下している自主財源

現状分析と対応

心を伺う

たことによる。 度に比べ二億円近く増加し 六五歳以上人口の増加によ の要因は、 れぞれ増加したことによる 方交付税及び県支出金がそ また、 因 自 基準財政需要額が前年 は、 主財源比率が低下し 財政力指数の低下 市税の減収と、 生活保護人員や 地た

図り、 げる努力を継続していく。 源である普通交付税交付額 料などの自主財源の確保を から、市税や使用料・手数 0 政力指数の低下は、 に支障を来すとともに、 自 『その他の質問項目』 増加を意味していること 律的で安定的な財政運営 自 主財源比率の低下は、 財政力指数を引き上 依存財 財

大助費、 市税及び国保税の収入未 市民病院の運営状況等に 観光振興事業と中小小売 今後の動向について二点 損処分の状況 業の活性化について二点 済額、滞納整理や不納欠 公債費の状況と 三点 三点

自主財源の確保に努める伊東市

整備について伺う。

セス整備等についた人員配置計画、新市民病院開院に つい でにアウン て

民主党・刷新の会

浅田良弘議員

画について伺う。 を図る必要があると考える 東部地区の中核的病院とし 新市 医師、 運営面においても充実 民病院は、 看護師の配置計 伊 豆半島

また、

南伊東駅周辺整備

■競輪事業特別会計につい ついて 一小・中学校の施設修繕の 状況及び学区の見直しに 一点 らに、 増加が予想される中、 の運行計画の進捗状況、 や南伊東駅からの巡回バス のアクセス整備と、 等に配慮した南伊東駅から 整備も含めた南伊東駅 また、

開院に伴い交通量の

さ

歩道

周辺

ついては関係者等と協議 ともに、アクセス整備等に 必要な雇用確保に努めると

市長

めている。 調に進んでおり、 ついても、 について、 医 師 必要な雇用確保に努 看護師の配置計 指定管理者と連 医師の確保は 看護師に 順

伊東駅、 き続き協議を進める。 性向上につながるよう、 地域住民や駅利用者の利便 間のバス路線の充実により、 ダイヤの連携や、 ともに、 行者用の通路を整備すると のアクセスについては、 市道宮川・桜ケ丘線 電車とバスの運行 病院と伊東駅との 病院と南 から 引

学校給食への地場産品導

二点

いじめによる不登校対策

入及び食文化教育 二点

メディカルツーリズム

新市民病院開院に向けて

業の状況、 点として

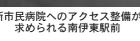
成果及び改善

五点

践」として執行された事

果的な安全対策について、 時間を調査した結果を踏ま 今年度は駅周辺の車両通過 議をしていきたい。 関係機関及び沿線住民と協 の交通量調査を実施し、 通過車両を抑制し、 効

#### 新市民病院へのアクセス整備が 求められる南伊東駅前



への対応はいかがか合を希望する民間事業への短 業統

につい

ては、

昨 车 度に

駅周



『その他の質問項目』

景気低迷が続く中、

市財

政と市内経済の現状 「いとう8Kの協創・実

公明党 長沢 正議員

現在、二上水道事業及び二

業のほか、 は観光地として発展してき 述されているように、 にも特殊な現状である。 水道事業が存在し、 体が運営する上水道、 を中心として、民間の事業 たことから、伊東市水道事 水道、専用水道など多くの 伊東市水道ビジョンに記 別荘地や保養所 全国的 簡易

ら広域化が必要と考えてお

統合を希望する民営水

協議を

ても、災害対策等の観点か

その他の民営水道につい 向けた協議を行っている。 関する要綱」により、統合 水道事業の民営水道統合に 可を受けており、「伊東市 簡易水道事業については認

進めていきたい。 道事業については、

れたが、 事業への統合を希望する民 年度においても伊東市水道 .事業がいくつか見受けら そのような中で平成二三 対応はいかがか。

合を希望する民営水道事業 災害対策等の観点から、 とは協議を進めていきたい 統

市 現在、 市 内には、 伊 東市

に当たり、当初予算どお

に執行されなかった点

開催時

間

のが短い

等の

反 省 働大臣の認可が必要であり 簡易水道事業が八事業、 は、 一営の水道事業を統合する 水道が一九カ所あるが、 道事業が二事業、 道事業以 統合に関する厚生労 外に、 民営の上 民営の 専 ■伊東市水道ビジョンにつ 一新地方公会計制度 につい り組みについ いて

て



民営水道の市水化の今後は

を含め、 のあり方について伺うを含め、今後の按針祭好針パレードの復活案

『その他の質問項目』 平成二三年度予算の執行 行財政改革の実施状況、 重点施策八項目のうち、 伊東市公共経営改革大綱 景のPR活動や遊歩道 経済対策と危機管理の取 整備等について への反映について 組みと成果及び伊東八



伊東元気の会 杉本一彦議員

浦按針) ム・アダムス(日本名・三 ある按針祭には、 本市最大の観光イベントで 祭典を通し、 東市街地全域にわたる の功績を広く市民 ウイリ 本来、 ア

0

廃止され、 変化の中、 の規模や内容が変わる時代 評価をするが、地域の祭典 や観光客に顕彰し、 血影は今やない な意義があると考える。 へ伝承していくことに大き 海上花火大会には一定 按針パレードが 以前の按針祭の 次世

て

ほか四点 への取

のあり方について伺う。 脱すると考えるが、 典本来の意義や理念から逸 按針パレードの廃止は、 活案も含め、今後の按針祭 に向け、按針パレードの復 按針祭を検証する中 来年度 で、

三浦按針を顕彰するイベン トとして充実していく

#### 市 長

市街地での定点イベントと 按針パレードは取りやめ、 の見直し等の意見を踏まえ、 会で出された按針パレード ら逸脱するとは考えてない 祭典の持つ本来の意義等か 針祭を開催した。 按針パレードの有無 議会や按針祭執行委員 平成二二、二三

から、

本市における対策

新伊東市民病院の運営に

のプロセスについて 本市の観光基本計 や体制について

画策定

ついて

点



按針パレード(平成20年)

催するとともに、 協力を得て、 容を工夫し、 お客様の誘導も図った。 により平成二 イベントとして充実させて 『その他の質問項目』 |本市の公共事業における 本市の観光と経済 市民の皆様の意見等を参 人札・契約制度について 市民力を生かす」 三浦按針を顕彰する 近隣商店街の一四年度は、内 午前中から開 商店街に 観点 三点

4議員が登壇/市政全般につい

(登壇順に掲載)

べきと考えるが、 奨学金制度について拡充す 伺う。また、 ると思うが、 看護学校の新設が必要であ 振興協会と連携する中で、 指定管理者である地域医療 今後三〇年間市民病院 看護学校生の 市長の考えを いかがか。 0



市長

看護学校等への進学希望



彰議員

正風改革クラブ 西島

■観光トイレの現状と改善 『その他の質問項目』 一公的施設の特定規模電気 |伊豆半島ジオパークの推 事業者(PPS) 進について 計画を含めた今後の展望 電力調達について からの 二点

職場となるべきである。

新市民病院は、

あこがれ

0

看護師を目指す方にとって

病院とはならない。

また、

していては、 えているが、

市民が求める 看護師が不足 新

病院の開院を来春に控



現市民病院

車の事故件数から、 ふやし、高齢者の交通事故 貼付を事故防止策の一つと を使用した高齢者マークの の考えはないか伺う。 防止の推進を図る 市内商店街等の賛同店舗を して取り組む考えはない また、高齢者による二輪 反射材

市長

現在、 高齢者運転免許証

校生の奨学金制度拡充に 看護学校の新設や看護学 ついて市長の考えを伺う 校の新設は、

納支援事業のさらなる推高齢者運転免許証自主返

設地、 があり、 ると、 地域医療振興協会とも協議 校等の設置状況等を踏まえ と考えられる。近隣看護学 的な確保に大きく寄与する 者がふえている中、 慎重に検討する必要 運営主体なども含め 設置の可能性や建 看護師の安定 看護学

ど、検討していきたい。 要があれば見直しを行うな 金制度拡充に関しては、 を進めてまいりたい。 また、 看護学校生の奨学 必

ついて、 事故件数は依然として多い 納支援事業のさらなる拡充 便利な車の運転を断念する ているが、 でも先進的な取り組みをし には至らず、 高齡者運転免許証自主返 運転免許 本市は、 移動手段として 証の自 高齢者運転の 静岡県内 主返納に

に向け、

今後の取り組み

行っている。 歴証明書を提示した方に対 の協力を得ながら、 るとともに、市内商店街等 自主返納支援事業を実施す 各種サービスの提供を 運転経

進を図る。 高齢者の交通事故防止の推 ながら、賛同店舗をふやし、 今後も、広報等を利用し 一輪車の高齢運転者マー 先進

等と連携して検討を行う。 地の事例等を参考に、 クの貼付については、 『その他の質問項目』 特定健診等の受診率向上

#### 一保育園事業等につい について 7

## 認定こども園の設置

### 特に支援の必要な園児に 対する保育士の配置



有田市高齢運転車マーク(二輪車)

望を踏まえ、 議が必要であり、 る費用負担等、 用地の確保や建設にかかわ 研究していく 地元との協 地域の要

いて考えられないか伺う。

市

地域のコミュニティセン

中心となる施設が必要である ティセンターなど地域活動の 吉田地区において、コミュニ と考えるが、いかがか

ター

は、

交流

の場の創出



正風改革クラブ 正議員

が起きた場合、 ティセンターがなく、 吉田地区には、 地区の対策 コミュニ 災害 佐山

ベーターの設置などバリア 役所の出張所の設置、 においても、区民会館に市 ターの建設ができない場合 いかがか。 と、ぜひ必要と考えるが、 フリー化等の施設整備につ 本部になることも考慮する また、コミュニティセン エレ

## 吉田区民会館

財産区と協議し、検討して 吉田財産区所有でもあるの 望を踏まえ、研究していく 建設にかかわる費用の負担 問題が多いので、地域の要 たっては、 用されているが、建設に当 (害時の避難施設として活 吉田区民会館に関して、 設備の改善については、 地元との協議が必要な 用地の確保や、

### 『その他の質問項目』 |本市体育行政について

一誘客の観点から、 周辺の駐車場整備につい 一碧湖 三点

本市教育行政について て 三点

盛り上げに貢献し、かつて

土産物店は、夜の雰囲気の

七五〇人いた芸妓は、

射的場はどこにでもあった。

当時、スマートボール、

違いを検証すべきである。

昭和の時代」と現在との

少していることを踏まえ、 数や日帰り客数も大幅に減 以上減少しており、宿泊客 年度のピーク時から三〇%

のように描いているか伺う。 四〇人まで減少している。 を踏まえ、温泉文化の薫る 伊東温泉の将来像」をど そこで、近年の来遊客数

の人が訪れ、満足していた 策環境の整備を進め、 だける観光都市を目指す 温泉文化の発信や景観・散 多く

### 温泉文化の薫る「伊東温泉の 将来像」について伺う

市

現在、

伊東温泉にゆか



は約六二二万人で、

平成三

本市の昨年

- 度の来遊客数

中心に、温泉文化に触れら

のある文学や芸妓文化の

信に努めており、

東海館を

(会派に所属していない)

満足していただける観光都 である「多くの人が訪れ、 る地域資源を活用した観光 の整備を進めてい れる街並み景観や散策環境 市」を目指す。 の推進等により、 『その他の質問項目』 |代表監査委員及び教育委 |老人福祉施設や介護従事 一田代トンネル内における 員長の本会議への出席等 域への対応について また、伊東八景を核とす 電話の電波の届かない 者の雇用状況の推移 ラジオの受信状況や携帯 政策目標 地



#### 閉会中の議会活動

#### 平成24年

平成24年6月定例会閉会後 平成24年9月定例会開会まで

7月5・6日 諏訪・伊東姉妹都市議会議員交歓研修会

9日 議会報編集委員会

# 議会改革特別委員会

23日 常任観光建設委員会協議会

30日 常任福祉文教委員会行政視察

8月 6日 静岡県市町議会議員研修会

7日 議会改革特別委員会

24日 議会運営委員会



(常任福祉文教委員会の委員等) 耐震補強工事の視察 南中学校校舎

議会内の異

動



第69代議長宮﨑雅薫

出されたことに伴 二七日 弘議員を選出しました。 正 副 の最終本会議にお 議 長 副議長に浅田 から 議 辞 長に宮﨑 1, 職 願 九 が 良 月提 41

Æ

副

議

長

0

選

ごらんください。 に異動がありまし 任委員会・議会運 IF. 特別委員会の委員の 委員会構成は、 副 議 長 O選 出 に 医営委員 た。 伴 11



第64代副議長 浅田良弘



●九月二七日 会派代表者の異動 在風改革クラブは、会派 正風改革クラブは、会派 代表者を宮﨑雅薫議員から 佐々木清議員に変更しました。



議長選挙の様子

#### 正副議長の選挙に伴う新委員会構成

常任総務委員会

委員長 井戸清司(正)副委員長 三枝誠次(輝)

**委員** 榎本元彦(正)長沢 正(公)鈴木克政(民)掬川武義(無)森 篤(無)

常任観光建設委員会

委員長 西島 彰(正)副委員長 横沢 勇(元)

委 員 佐々木清(正)楠田一男(公)浅田良弘(民)稲葉富士憲(輝)重岡秀子(無)

常任福祉文教委員会

委員長 四宮和彦(民)副委員長 鳥居康子(公)

委員 土屋 進(正)佐山 正(正)浜田修一郎(正)稲葉正仁(輝)杉本一彦(元)

議会運営委員会

委員長 佐々木清(正)副委員長 三枝誠次(輝)

委員 西島 彰(正)榎本元彦(正)鳥居康子(公)四宮和彦(民)横沢 勇(元)

議会改革特別委員会

委員長 三枝誠次 (輝) 副委員長 鈴木克政 (民)

委員 佐々木清(正)佐山 正(正)浜田修一郎(正)鳥居康子(公)

長沢 正(公)四宮和彦(民)杉本一彦(元)森 篤(無)

※宮﨑雅薫議長(正)は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。 会派略名:(正)正風改革クラブ(公)公明党(民)民主党・刷新の会(輝)輝21(元)伊東元気の会(無)会派に所属していない

#### 常任委員会だより

~常任委員会審査の中から~

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

#### 総務委員会

市政への企画段階からの市民 参画について伺う。

答

平成23年度から新たな市民 参画のあり方について検討して おり、平成24年度からは具体 的な形で実施していきたい。

焼却灰溶融固化処理委託に係 る震災瓦れきの処理について伺 う。

答

焼却灰の受け入れ先の自治体の意向により、協議が整っていないため、本市において震災瓦れきの処理ができない状況である。



火災出動に係る虚偽通報対策 の強化が必要と考えるが、いか がか。



故意に火災出動を求める通報には、警察に強く対応を要請した経過もあり、誤報と区別した中で、厳正に対応したい。



伊東市消防署

#### 観光建設委員会

Wプレミアム夢クーポンの実 施結果について伺う。



発行予定数10万セットのところ、発行実数は4万8,952セットとなり、地元商店街を含む専門店で7割、大型店で3割が使用された。



南小学校等の付近における交 通量調査の目的と対象について 伺う。



通学時間帯の交通事故が全国 的に多発する中、あんしん通学 路施設整備事業の指定を受ける ため、車両、通学者、一般の歩 行者等の交通量調査を実施する。



南小~南中付近

個

水道使用料以外の営業収益の 展望について伺う。



未収金の解消、収納率の向上 に努めるとともに、民営水道の 統合や小水力発電等そのほかの 方法についても研究していく。

#### 福祉文教委員会

児童虐待等の未然防止に向け た体制を問う。



児童虐待防止のネットワーク 等の協力を得、高齢者の虐待防 止も視野に入れたネットワーク の構築に努め、有識者等の意見 も取り入れながら虐待を防止し ていく。

市内小・中学生の成長の傾向について伺う。



食育への取り組み等を通じ、 幼児期からの食に対する意識が 保護者も含めて変わってきてお り、肥満傾向の子供が減少して いる。



圕

親子料理教室

小学校統廃合について



教育上何が最も望ましいかということを重点に置き、地域の実情、地域社会形成の歴史的経緯などを斟酌した上で、保護者や地域住民への十分な説明、協議会等を経て進めるべきである。

#### 市議会内の会派構成

(◎=会派代表者、会派構成議員は議席順)

#### ■正風改革クラブ

浜田修一郎 議員 榎本 元彦 議員 正 議員 佐山 井戸 清司 議員

- ◎佐々木 清 議員 西島 彰 議員 雅薫 議員 宮﨑 進 議員 土屋
- ■公明党
  - ◎鳥居 康子 議員 長沢 正 議員 一男 議員 楠田
- ■民主党・刷新の会
  - 四宮 和彦 議員 ◎鈴木 克政 議員 良弘 議員
- ■輝21
  - ◎稲葉 正仁 議員 稲葉富士憲 議員 三枝 誠次 議員
- ■伊東元気の会
  - ◎横沢 勇 議員 一彦 議員 杉本
- □いずれの会派にも属して いない議員

掬川 武義 議員 秀子 議員 重岡 篤 議員

する決算・予算特別委員会 ぞれ全議員の半数の構成と は必要ないとの意見、それ 議日程も短縮できる等の意 委員会より委員数も多く、 審議ができているとの判断 より活発な議論ができ、 を設置すれば、現状の常任 設置に関し、現状、十分な 議のあり方について協議 決算・予算特別委員会の 特別委員会の設置 八月七日に委 審 連質問を認め、会派の人数 要請する中で詳細に審議す に関し検討を求める旨の意 に応じた持ち時間制の導入 との意見等があった。 会設置ならば検討に値する 多様な議論ができる等の意 会への付託と比較し、 ることによって、 代表質問の検証に関し 全議員による特別委員 時間を短縮して、 会派所属議員による関 決算のみに関し 常任委員

7

等から、

であるとして、本会議にお きないこと、あるいは、 旨の意見、大綱質疑につい 明を求めることを提案する 委員会に係る詳細な決算説 とする旨の意見があった。 制度自体は廃止してもいい 法に戻したほうが、より多 することとして、 任委員会との調整等が困難 くの議論ができるとの意見 七年度以前の大綱質疑の方 存続させる旨の意見、 また、本会議において全 深く審議することがで 制度

員会を開催した。

七月九日、

九月定例会における決算審

会を設置し、

市長の出席

員による特別委員

会改革特別委員会

特別委員会中間

報告

要があるとする旨の意見等 ける質疑の方法を変える必

#### 編 集 後 記

ある

きあった。

策的な条例制定に係る議員 開催された今定例会は、 議会となりました。 査委員への質疑など、 による議案の提出や代表監 また、市議会では、 記録的な厳しい残暑の 政中 īE.

様子をくまなくお届けでき 期待されるところです。 たえるべく、闊達な議論が 市議会だよりでは、 その

伊東市大原二丁目一番

ご質問は議会事務局

TEL (E)

一 九八一

FAX (三八) 六九一六

もと市民の皆様の負託にこ

副議長が誕生し、新体制

0

まいります。 るような紙 面

### 議会報編集委員 委員

市議会に関するご意見 委 員 員 長 長 杉四長榎 本宮沢本 枝 和 誠 元 彦彦正彦次

E-mail: gikai@city.ito.shizuoka.jp

成に努め (委員)

#### 12月定例会の予定

(いずれも午前10時から始まります。)

12 月	6•7•10日	本会議(一般質問)
	11・12日	本会議(議案審議)
	13日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
	14日	常任総務委員会
	20日	本会議(最終日)

※11月下旬の議会運営委員会において正式に 決定します。